

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

思い出の場所

岳南中学校 川本 結愛

「今日は流れ星が見られるらしいよ。」
 そんな母の一言で家族みんな外に出た。
 でも、外に出て十分くらいたって流れ星は
 あらわれず、星すら綺麗に見えなかった。
 流れ星をどうしても見てみたかった私たちは
 千尋の滝まで行くことにした。

着いたのは千尋の滝の駐車場だ。車から降りてみるとさっきとは比べ物にならないくらい

中学校

いたくさんの星が見られた。夜の外はとてもしばらく星をながめていると流れ星が通り

過ぎていった。通り過ぎるのがはやく、生まれてはじめて流れ星を見ることができた私は感動して願い事をするのを忘れていた。

そして、もう一度流れ星があらわれくれると信じて空の星を見ながら待っていた。

すると、さっきよりも大きく輝いている流れ星が通り過ぎていった。また通り過ぎるの

No.

20×20

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

月 日 曜日

がはやくて願い事はできなかつたけどなんだ
 か、いいことが起きそうな気がした。
 そのあとも、星をながめていたら二、三度目
 の流れ星が通り過ぎていった。でも、さっき
 の流れ星より大きいものはあらわれなかつた。
 あんなに大きくて輝いていた流れ星を見たの
 は私たちだけだと思おうと、とてもうれしくて
 なにより、あの流れ星を家族と見ることがで
 きて最高にうれしかった。

千尋の滝は私の思い出の場所だ。

中学校

私は千尋の滝が大好きになつた。
 そんな私の大好きな千尋の滝をもっと色んな
 人に知ってもらいたい、もっと色んな人に見
 に来てほしいと思ひ、千尋の滝を紹介するこ
 とにした。

千尋の滝は昼間などの明るい間は綺麗な滝
 を見ることができ、夜になると私たちのよう
 に誰もいない駐車場に寝ころんでプラネタリ
 ウムのような星を見ることができる。

つまり、千尋の滝は明るい間に行つても暗い

No.

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことをおきない、むだなことをけずりましょう。



- 1、 題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、 学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、 文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、 文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

（ 月 日 曜日）

間に行っても楽しめるのだ。

私は昼にも夜にも行ったことがあるが、どちらもとて楽しくて綺麗で思い出作りにはぴったりの場所だ。もしも屋久島でどこに行けばいいか分からないという人は一度千尋の滝に行ってみてほしい。思っている何千倍も綺麗で感動するからだ。さらに、とても迫力があり、滝の落差は六十メートルにもなる。また、雨の日と晴れている日では滝の印象は大きく変わる。雨の日では滝の流れが強く、

中学校

霧がかかり、激しいような印象になるが、反対に、晴れの日には流れが穏やかで、たくさんの緑にかこまれている優しい印象になる。このように千尋の滝は明るい間、暗い間、雨の日、晴れの日でとても印象が変わって行く。だからいつ見に行っても楽しめるというのがこの滝の良い所だ。家族や友達・恋人など誰と行っても思い出になるのでぜひ行ってほしい。屋久島に来た際には、一度行ってほしい観光スポットの一つでもある。

No.

20×20

（不許複製）



- 5、 読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、 人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、 漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、 書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

私の大好きな千尋の滝がもっともっ広ま
 いてたくさんの方が来てくれますように。
 千尋の滝がみんなの思い出の場所として心
 に残ってくれますように。

みんなが千尋の滝に行ってよかったと思
 ってくれますように。

この作文をおして私の大好きで思い出の
 場所である千尋の滝の良さがたくさんの方に
 伝わりますように。

私が流れ星を見つけたように、もしかした

中学校

ら千尋の滝ではないか、すてきなものが見つ
 かるかもしれない。

みなさんもぜひ、一度千尋の滝に行っ
 てはどうだろうか。

No. _____

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

(不許複製)

